

令和6年度 学校評価 教職員アンケート

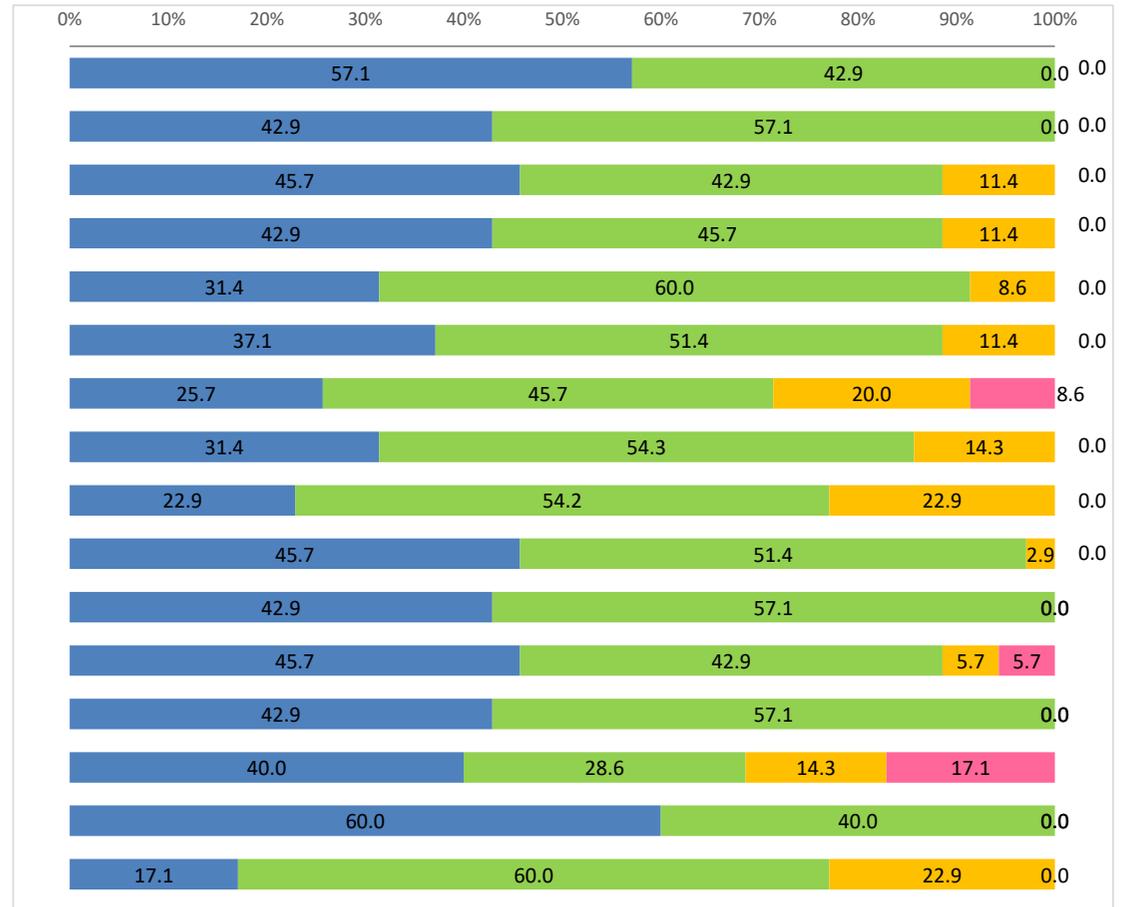
学校生活について

1 実施 令和6年12月

2 対象 教職員 (回答35)

A そう思う B どちらかというと思う
C どちらかというと思わない D そう思わない

番号	アンケート項目	回答(パーセント)				A+B
		A	B	C	D	
1	子どもの理解に努め、子どもの居場所がある学級づくりに努めているか。	57.1	42.9	0.0	0.0	100.0
2	子どもを多面的にとらえ、教師・児童相互の共感的人間関係づくりに努めているか。	42.9	57.1	0.0	0.0	100.0
3	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成に努めているか。	45.7	42.9	11.4	0.0	88.6
4	「学び合い」の授業づくりに努めているか。	42.9	45.7	11.4	0.0	88.6
5	読み・書き・計算の指導を工夫し、学ぶための基礎・基本の力を伸ばしているか。	31.4	60.0	8.6	0.0	91.4
6	授業力、指導力向上のために研鑽を積んでいるか。	37.1	51.4	11.4	0.0	88.5
7	道徳の時間を充実させて、道徳性の涵養と実践力の向上に努めているか。	25.7	45.7	20.0	8.6	71.4
8	気持ちのよいあいさつ、「ありがとう」の感謝のことが言える子どもを育てているか。	31.4	54.3	14.3	0.0	85.7
9	体力づくりを推進するとともに外遊びを奨励しているか。	22.9	54.2	22.9	0.0	77.1
10	安全点検・安全指導に努めているか。	45.7	51.4	2.9	0.0	97.1
11	相談活動を進めることで子どもの心の理解に努めているか。	42.9	57.1	0.0	0.0	100.0
12	学校と家庭・地域との連携を深めているか。	45.7	42.9	5.7	5.7	88.6
13	分かる授業、楽しい授業づくりに努めているか。	42.9	57.1	0.0	0.0	100.0
14	地域教材や地域講師を生かした学習活動の展開を工夫しているか。	40.0	28.6	14.3	17.1	68.6
15	いじめをなくすように努力している。	60.0	40.0	0.0	0.0	100.0
16	校務支援システムの活用を図り、事務効率をあげている。	17.1	60.0	22.9	0.0	77.1



- ・「1」、「2」、「11」、「13」、「15」については、A+Bが100%であり、児童に寄り添って支援していこうとする教師の思いの表れと考えられる。
- ・「13」については、常日頃から目指していることである。また、本校の研究テーマは「全員参加の授業」であり、すべての児童が授業に参加し、分かる授業、楽しい授業を目指している。実現はなかなか難しいものの今後も分かる授業、楽しい授業を目指していく。
- ・「7」の道徳の時間に関しては、主に道徳科の授業についての回答だと考える。本校の研究テーマである「全員参加の授業」を目指して、日常的に授業実践に取り組んできた。しかしながら、「道徳性の涵養と実践力の向上」にまで至らないことも多い。道徳の研究授業を推進し、「全員参加の授業」とともに道徳性の涵養と実践力の向上に努める。
- ・「9」の体力づくりに関しては、体育委員会による全校遊びなど、高学年児童が「みんなに外で楽しく遊んでほしい」という願いのもと、活動してきた。今後も児童の取組による外遊びの呼びかけと、日常的な教師の働きかけをしていく。また、体育の授業の充実を図り、体力の向上を目指す。
- ・「8」のあいさつや言葉遣いについては、昨年度よりも肯定的な評価となっているが、地域の方から本校児童の言葉遣いについてご指摘をいただくことがある。学校で児童に指導するとともに、家庭や地域にも働きかけ、「共育・協育」の視点で、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣いについて指導、支援していく。
- ・「14」については、令和6年度からはコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を立ち上げて充実を図ってきたが、学年間で差が出てしまった。人材バンクの作成にも取り組んでいるため、今後も継続していけるような仕組みを作り上げるとともに、新たな地域教材や地域講師を生かした学習活動の展開を目指していく。
- ・「16」校務支援システムの活用については、ペーパーレス化をさらに進め、校務支援システムの活用を図っていく。